

令和5年度 こども発達センターめばえ 職員評価表（公表）

公表：令和6年3月26日

国から示された「児童発達支援ガイドライン」に基づき、職員の自己評価を実施しました。事業所における課題点及び改善すべき点を再度確認し、今後の事業所の運営に活かしていきます。

対象職員数 23人 : 回収数 23 : 回答率 100%

		チェック項目	はい	いいえ わからない 子ども	いいえ	わからない	*改善目標、工夫している点等
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか ※国基準: 1人 1.65 m ²	17	2	1	3	*配置基準は満たしています。
	②	職員の配置数は適切であるか ※国基準: 園児8人・職員2人	14	4	3	1	*国の基準が子ども8人に対して職員2人のところを、職員3人の配置をしています。職員が休みを取れば応援が必要になり大変さを感じると思いますが、不意に休むことはお互いさまであり、どのような協力体制をとれば軽減されるのか一緒に考えていきたいです。
	③	事業所の設備等について、利用児にあった配慮が適切になされているか	16	5	0	2	*利用児のトイレに仕切りはありますが、子どもの安全や支援のしやすさを考慮し、状況が把握しやすい環境設定になっています。しかし、子どもの個性に配慮する視点は大切なことなので、どのように両立できるか、他の施設の環境設定等も調べながら考えていきます。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	10	5	0	8	*PDCA サイクルを意識できるよう、職員研修や会議等で伝えています。
	⑤	保護者等向け評価表等を活用し、アンケート調査を実施して、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか ※現状年2回（施設運営懇談会・保護者アンケート）	18	2	0	3	*保護者からご意見・ご要望をいただき、できるところから改善を図っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	16	0	0	7	*評価を受け、早急に取り組まないといけないと感じる意見から改善しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか ※第三者評価は未実施	5	1	7	10	*第三者評価は、権利擁護のみ行っています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	21	1	0	1	*月に1日1時間、職員研修を行っています。今年は「サーキット運動」をテーマに、OTからアドバイスを受けながら研修しました。
提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	21	0	0	2	*専門職も含め、めばえ全体で子どもの発達や障害特性に応じた課題や支援を考えています。

	⑩	こどもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	15	2	0	6	*個別支援計画をまとめる上でのカンファレンス時等、年に3回は確認しています。その上で国の動向や職員の意見を受け、少しずつ改良しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	20	0	0	3	*活動内容等に対する意見を出し合う機会を設け、今後とも子ども一人ひとりのあらわれを確認しながら活動を組み立てていきます。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	17	3	0	3	*今後も季節にあった活動を取り入れ、子どもから興味や関心を引き出し、楽しい活動を提供していきます。
	⑬	個別支計画に沿った支援が行われているか	19	2	0	2	*日々こどものあらわれを職員間で確認し、支援目標が達成できるよう療育を行い、家庭との連携を図っています。
	⑭	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成しているか	16	3	1	3	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	22	0	0	1	*毎日記録を取るだけでなく、こどものあらわれを把握し、職員間で情報を共有することが大切であると意識できるよう働きかけています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	15	5	1	2	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	21	0	0	2	*こどもの日々の記録は、ひと月ごとにクラスでまとめて、児童発達支援管理責任者に提出しています。文章の中で疑問に感じたりもう少し説明を求めたりしたい場合は、クラス職員に確認するようにして、正しく適切に伝わる記録を残すよう努めています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	18	0	0	5	*日々の様子をまとめた文章を、関係する支援者全員で確認し、半年に1回（必要に応じてそれ以上）は見直しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	16	0	0	7	*ガイドラインは所定の場所にあります。誰でも見られるようにしています。今後はより職員全体に周知できるよう、確認する時間を作れるか検討します。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、そのこどもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	16	0	0	7	*所長、児童発達支援管理責任者、必要に応じてクラス職員等が会議に参加しています。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	17	0	0	6	*必用に応じて関係機関と情報交換し、関係者で連携し協力しながら保護者支援も行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	20	0	0	3	*保護者を通じて、主治医や協力医療機関（園医）に相談・情報交換しています。関係者で連携し協力しながら支援しています。

	⑳	保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で、移行に向けた支援内容の情報共有と相互理解に努めているか	21	0	1	1	*保護者の希望やこどものあられから交流保育や移行支援を進め、園との繋がりを大切にしています。
	㉑	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	21	0	1	1	*支援学校や支援学級見学を保護者と一緒に行き、就学先について必要な情報を提供し、決定に向けて話し合い、不安を解消できるよう時間を設けています。保護者の意見を大切にしながら、移行支援会議や申し送りの会等を設定しています。
	㉒	他の児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	14	1	3	5	*研修内容を精査し、県内の児童発達支援センターが集う研修会や発達障害者支援センターの研修に参加しています。
	㉓	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のないこどもと活動する機会があるか	14	6	2	1	
	㉔	（自立支援）協議会の乳幼児部会等へ積極的に参加しているか ※所長参加	15	0	3	5	*今年度は、部会の開催はありませんでした。開催時には所長、必要に応じて児童発達支援管理責任者が参加します。
	㉕	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	21	1	0	1	*保護者とは、連絡ノートで日々の様子はお伝えし、年3回の面談で、より詳細に園での様子や支援計画について話しています。また、外国籍の家庭には頻繁に家庭訪問して情報共有に努めています。全家庭に対して、必要に応じて随時個別に話を聞く時間を設けています。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	10	2	1	10	*ペアトレは行っていませんが、保護者と必要な対応を一緒に考え、対応の仕方や工夫についてアイデアを提供しています。来年度は、学びの機会を増やしていきたいと思います。
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	15	1	0	7	*4月の保育参加日に保護者に説明しています。外国籍の方へのわかりやすい対応にも力を入れています。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	18	2	0	3	*保護者からの相談に対して、一緒に考え具体的な対応策等を伝えています。保護者と繋がりを深めることが大切だと感じていますので、今後は保護者からのアクションを待つのではなく、保護者の時間の許す範囲でこちらから積極的に話を伺う機会を作っていきます。
	㉙	保護者会の活動を支援したり、保護者参加日等を開催したりする事により、保護者同士の連携を支援しているか	21	1	0	1	*保護者会活動の内容を決める話し合いに参加させてもらっています。保育参加日や保護者参加日等で、保護者同士の繋がりを深めていただいています。
	㉚	こどもや保護者からの苦情に対して、対応する体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	1	0	2	*保護者からのご意見を職員間で確認し、迅速に対応し再発防止に努めています。苦情解決委員会にも報告し、取った対応が適切であったか評価してもらっています。
	㉛	定期的に園便りやクラス便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	21	1	0	1	*毎月「めばえ通信（クラスだより）」や月ごとのクラス活動や行事予定等の便りを発行しています。

	③⑤	個人情報に十分注意しているか	22	1	0	0	*個人情報のファイルは職員室、もしくは外部の方だけでは利用できない部屋に保管されていましたが、今年度途中から個人情報のファイルの保管方法を変え、外部の方から全く見えないようにしました。
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	21	1	0	1	*保育参加日やお母さん・お父さん先生等で、日頃の子どもとのやりとりを見ていただき、発達や特性に合った配慮をしているか、保護者に確認してもらっています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	13	5	0	5	*コロナ禍から行事への招待は中断していますが、療育補助のボランティアや民生委員の方々の見学等の受け入れも積極的に行い、子どもたちと交流を図ってもらっています。
非常時等の対応	③⑧	防災マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	18	2	0	3	*組合全体、もしくは事業所でマニュアルを作成し、入園時保護者にどのような対応をするのか大まかに伝えていきます。継続児の保護者に対しても毎年周知するよう改善します。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	22	0	0	1	*毎月地震もしくは火災を想定した避難訓練を行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	18	1	0	4	*学園全体の権利擁護委員会に所長が参加し、事業所の現状を共有しています。職員には、年に2回権利擁護の観点からのアンケートを取り、現状を振り返っています。
	④⑪	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	20	2	0	1	*入園時に健康管理上の留意点等を保護者に確認しています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもに対して、医師の指示書に基づく対応がされているか	22	0	0	1	*栄養士が医師の指示書に従い、除去や代替えの対応をしています。
	④⑬	ヒヤリハットを毎月確認して、事業所内で共有しているか	21	0	0	2	*緊急性の高い、もしくは頻発している等、内容や深刻さで判断し、時間をとって職員会議で再度報告していただきました（起こった場合、当日報告し、再発防止の検討を都度行っています）。
	④⑭	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	19	0	0	4	*今年度は東遠学園組合全体で行う研修のテーマが「虐待」でした。年に2回研修の機会を設けました。
	④⑮	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	14	0	0	9	*緊急時にその方法以外手段がないと判断すれば、やむを得ず行うことも可能性（限りなく少ないですが）としてはあります。その場合、事前に保護者と状況や手段等を細かく確認し、支援計画に内容を記載します。